

長岡市立宮内中学校

避難所機能を備えた学校建築 —災害を乗り越えて未来へ—

中越地震後、長岡市による避難所機能を備えた2校目の学校である。

4層吹抜の生活フォーマムを中心とし、校舎全体の透明性と気配を感じ取れる空間とした。地域開放ゾーンと避難所機能ゾーンを重ね、日常の学習空間と分離可能な計画を行った。

地域開放アクセスである屋根付広場は、通常は屋外活動の日陰休憩所、災害時は自衛隊駐屯所、支援物資集積所ともなる。

避難所として、大体休憩室、武道場、PTA室が並んでおり、トイレ更衣室、シャワールームが備わる。武道場には溝赤外線ヒーターが設置され、寒い時期にも対応する。隣接する給食室からの出しも可能で、長期的な避難生活と日常的な営業が支障なく行える。一年生 240人が一緒に食事できるランチルームは冷蔵庫を備え、地域集会や日常生活にも利用可能とした。

災害時の電力と水確保の為、太陽光発電と共に非常電源車接続可能とし、雨水貯留(トイレ洗浄水利用)を装備し、環境学習も行えるエコな設備計画とした。

